

## (株)岐阜造園社長に山田準氏が就任

11月1日付 小栗達弘氏は会長に

代表権2人体制でさらなる成長と発展目指す

(株)岐阜造園は10月16日開催の取締役会にて、11月1日付で小栗達弘社長が代表権のある会長に就き、山田準（やまだ・ひとし）専務取締役が社長に昇格するトップ人事を発表した。代表取締役を2人体制とすることで、機動的な経営判断を行い、さらなる成長と発展を目指すことが目的。

山田新社長は名古屋出身、69歳。昭和45年に(株)岐阜造園



新社長の山田準氏

入社。入社後は主に設計部に所属し、造園に係る技術力を身に付け日本有数の造園家となる。昭和62年に設計部長、平成5年取締役就任以来、小栗社長の片腕となり経営に携わる。平成20年より専務取締役設計部長に就き、平成30年より専務取締役ガーデンエクステリア事業部担当。

長年にわたり設計部門を統括し、グループの技術力の向上、新たな商品開発の創造に取り組んできた。また顧客へのきめ細かい対応や満足度の高い仕事の遂行により、国内のリゾート施設や超高級な個人邸のガーデンエクステリア

ア、中国青島での大型ホテルの日本式ランドスケープ案件を手掛ける等の実績を持つ。会長に就任した小栗氏は、平成17年から15年半にわたり社長を務め、造園専業では初となる名古屋証券取引所への上場や、大手住宅メーカー・積水ハウスの資本業務提携などを遂行し、社の成長基盤を確立させると共に、造園業の価値向上を実現してきた。

### ●山田新社長の抱負

現代表取締役社長である小栗達弘は、平成17年4月の社長就任以来、15年半にわたり

(株)岐阜造園の経営を指揮してまいりました。この間、大阪の景匠館のM&A、造園業では初となる名古屋証券取引所への上場、積水ハウスの資本業務提携等、さまざまな経営策を打ち出し、成長基盤を確立しました。

この度、代表取締役を2名体制とすることにより、経営体制の一層の強化、充実を図り機動的な経営判断を行うことが出来る体制とし、特に、弊社の強みである技術力の伝承・向上に注力し、さらなる事業成長を図り、次のステージに向けて成長発展を目指す所存でございます。

ネージャー・湯川和則  
プロユース営業本部 北海道・東北エリアマネージャー兼北海道・東北代理店エリア長・千賀泰平  
プロユース営業本部 中国エリアマネージャー・大久保誠

プロユース営業本部 九州エリアマネージャー・松川智広  
プロユース営業部 首都圏代理店エリア長兼マネージャー・福永健志  
プロユース営業部 東海代理店エリア長兼マネージャー・太田一泰

プロユース営業部 関西代理店エリア長兼マネージャー・三木崇史  
プロユース営業部 九州代理店エリア長兼マネージャー・岡本学  
プロユース企画部 副部長 開発担当プロユース企画部

ロダクトデザインセンターマネージャー・植村剛  
プロユース企画部 副部長 企画担当プロユース企画部商品企画課マネージャー・河上博輝

設) IT・デジタル戦略室長兼プロユース企画部販売促進課マネージャー兼経営企画室NET推進担当・岡本晴雄  
(海外事業戦略室)  
海外事業戦略室長・内海良平